

平成24年度 事業計画(案)

平成23年度は、東日本大震災後をいかに乗り切るかという試練の一年でした。私たちの今できることは何か、今後何をなすべきかと自問自答してきたはずで、そんな一年を経て、山梨県臨床衛生検査技師会は、平成24年度は、永年の課題であった一般社団法人を取得して新たな一步を踏み出す年です。

今年度は、執行部および事務局の交代時期でもあり、医療を取り巻く環境がどんなに厳しくても、技師会は、安全でより質の高い医療サービスの提供に努める責務がある。また、日本臨床衛生検査技師会も、支部制の導入により、従来の関東甲信地区技師会が、関東甲信支部と首都圏支部とに分かれ、多少なりともその影響が予想される。

そこで、平成24年度の山梨県技師会は、当会の目的を着実に推進すべく、下記の基本方針を軸に、公正で透明性の高い運営をめざす。また、当然のことながら、会員の綱紀粛正には常に心がけたい。

- 基本方針
- (1) 学術活動の推進
 - (2) 組織の強化
 - (3) 人材育成(各種認定資格取得支援も含む)
 - (4) 情報網の整理(災害地域支援ネットワーク構築も含む)
 - (5) 公益事業の開催と他関連団体との連携

1. 学術活動

技師会活動のなかで学術活動はその根幹を占めることから、研究班活動を中心に、多くの会員が積極的に研修会に参加できる企画にする。

また、各種の認定制度の取得に向けて、研修会参加等の支援を行う。

昨年より開始された日臨技施設認証については、山梨県でも精度保証認証施設取得に向けて、今年度の更なる普及に努める。

2. 組織の強化、人材育成、情報網の整理

事務局は今年より山梨厚生病院に交代の時期で、円滑なる事務局の引き継ぎを図りたい。一般社団法人として、事務局に多大なる負荷がかかることが予想されるので、全会員の更なる協力を望むものである。

地区活動の活性化により地区理事を中心とし、未加入会員調査も含め、更なる組織の強化を図りたい。さらに、OB会も設立されたことから、多くの会員相互の連携を推進する。

今後の技師会活動において、会員間の連携強化と底辺拡大は不可欠な事柄であり、今まで以上に人材育成を念頭に置き、新人研修会等を企画したいと考えている。また、学術活動と共同で、各種認定資格取得への支援を推進する。

技師会ホームページも順調に運用されているが、個人情報の保護、セキュリティの確保に努めつつ、広報部と協力のもと、迅速かつ的確な情報提供を推進する。

記憶に新しい東日本大震災を教訓に、災害対策として、新潟県技師会を手本にしながら、山梨県版の災害地域支援ネットワークの構築の検討を進める。

3．公益事業の開催

昨年は、乳がん予防啓発運動、エイズ予防啓発運動を、イオンモール、中銀スタジアム、甲府昭和高校で実施した。今年度も臨床検査技師の社会貢献の一環として実施するが、一般社団法人として他団体との連携をより深めて活動の展開を考えている。

4．関連団体との連携

例年通り、関連団体との連携を図り、関連団体主催の各行事への共催、参加を促進したい。

山梨県医師会精度管理調査事業

山梨県健康増進事業への参加、協力

日臨技、関甲信支部・関東甲信地区技師会との連携、協力

山梨臨床検査医学研究会の共催

公益事業の共催

5．各実行委員会の設置

第28回山梨県医学検査学会 担当 甲府B地区

(市立甲府病院、住吉病院、甲府市医師会臨床検査センター、甲府市医師会細胞診センター、甲府市医師会健康管理センター、貢川整形外科病院、甲府脳神経外科病院)

学術講習会 峡東 担当

リフレッシュ研修会 峡北 担当